

生涯学習センターきらめき講座

生涯学習センターきらめきでは、多くの市民の皆さんがさまざまな講座を受講し、楽しく学習しています。新しい年を迎えた今回は、川原宗吹先生が担当されている「茶道のこころに学ぶ」と、木村保司先生が担当されている「英会話初級－元気のでる英会話」を紹介します。講座に関わる楽しいお話を伺うことができました。

茶道のこころに学ぶ

茶道は日本の総合伝統文化です。茶道で学んだ心得や作法を通して、日本の文化を知ることができ、日常の暮らしの中にも生かすことができます。

形式美だけではない「茶道のこころ」について講師の川原先生にお話を伺いました。

茶道はいつ頃から始まったのですか。

わび茶の茶道は、千利休に至って大成されました。安土桃山時代のことです。精神性を重んじ美意識を高めた利休のわび茶は武士階層にも広がり、その精神は茶道の基礎となって現代に受け継がれています。

茶道の「美」はどこにあるのですか。

日本の総合伝統文化である茶道には、たくさんの「美」が内在します。それを私たちの暮らしの中にも生かすことができるのです。

まず、茶道の一連の動作を見て思うことは、非常に洗練されていて美しいということです。立ったり座ったりお辞儀をしたりする動作には余分な動きがありません。おけいこでそうした動作を身につけると、生活の場でも自然に美しく振る舞うことができます。また、お茶をたてていただくという所作は、感謝や思いやりといった日常生活におけるさまざまな場面でマナーとして応用することができます。



受講生を指導される川原先生

受講生の皆さん

茶道では、床の間の掛物や花入、釜、茶碗などの茶道具が使われています。それぞれに歴史や意味がありますから理解すると、その美しさ、芸術性をより感じ取ることができます。また、茶道は季節感を大切にします。茶

花は季節の花を入れ、掛物や茶碗などにも季節を感じる絵柄を取り入れます。こうしたことを知っておくと、日常の生活にも自然と季節を取り入れることができるようになります。

日常の慌ただしさから離れて、茶室の中に身を置き静かな時を過ごすことは、現代人にとっては贅沢で美しい時の過ごし方だと思います。茶道は形式だけではなく、心の在り方も重視します。精神的にも落ち着きとゆとりが持てるのではないのでしょうか。

気軽にお抹茶を楽しみたいのですが…。

きらめき講座では、「盆略点前」(お盆を使った簡略な点前)を習得していただけます。お盆の上のできるの、これを覚えるとお抹茶を手軽に楽しむことができます。15回の講座修了間近にはほぼマスターできるので、お茶会にも出られるようになります。ここで学んだことをぜひ実践していただきたいですね。受講生の中には正座が苦手な人もいましたが、回を重ねるに従って最後まで座れるようになっていきます。講座では作法や手順をしっかりと覚えていただきますが、「堅苦しいもの」「面倒な作法」という先入観を捨てて楽しんでください。

また、ご家庭でお抹茶を楽しむこともできます。ポットとお湯、茶碗、茶筴、茶杓があればテーブルの上でもできます。抹茶はどこでも購入できます。あとは好みのお菓子をを用意して、ご家族やお友達に召し上がっていただくと、皆さんに喜ばれるでしょう。

「お茶をいただくとき、なぜ茶碗をまわすのでしょうか」という質問をよく受けます。お茶は茶碗の正面をお客様に向けて出されます。正面は絵柄のある茶碗の場合、一番きれいに見える部分です。その部分に口を付けないためにまわして、ずらしていただくのです。そこには、常に感謝の気持ち、謙虚な気持ちがあります。

英会話初級－元気のでる英会話

－外国の人と英語で話がしてみたい…。でも、なかなか思うように話せない…。話しかけても通じなかったらどうしよう…。－

そんな人のために、講師の木村先生に幾つかのアドバイスをいただきました。

講座ではどのようなことに重点を置かれていますか。

タイトルにもあるように、「元気のでる」授業を心掛けています。皆さんには、全員いっしょに、または、1対1の形式でダイアログを繰り返し音読していただきます。家に帰ったらお腹が空いたと思うくらい繰り返し声を出すことで、自然に英語が口から出るようにするためです。講座では1分間スピーチもしていただきます。簡単なフレーズでも人前で英語を話すことは自信につながります。また、英語の歌を全員で歌います。これは英語のリズム感を養い、フレーズを覚えやすくするためです。講座の期間中に2曲覚えていただきます。

受講生の皆さんの様子はいかがですか。

ここに来られている受講生は目的がはっきりしている人が多いですね。海外旅行のため、孫と英語についての話がしたいため、国際化している現状に遅れないためなど明確な動機付けがあります。一つでも多くの英語を吸収しようと皆さんとてもどん欲です。質問なども的を射たものが多く、圧倒されることがしばしばです。

講座の定員は30人ですが、毎回それを超える応募があります。しかし残念なことに、講座が始まってから早い時期に3・4人の方がおやめになります。中にはほかの人と比較してやめてしまう方もおられます。もう少しがんばっていただくと、英語の面白さがわかってもらえると思うのですが…。続けていると少しずつ楽しくなってきます。すでにこの講座を修了し、自主的にグループを作って英会話を楽しんでいる人たちもおられます。継続こそ力なりです。

英会話を上達させるには毎日の努力が必要ですが、どんなことに気を付けて学習すればいいのでしょうか。

基本は英語文をたくさん朗読することです。どんな文章でもいいのでそれを毎日10回程度音読するのです。ただし、

一つの段落に知らない単語が2・3個くらいまでの文章を朗読します。それと並行して、CDなどに録音されている会話の声に自分の声を重ねて練習しましょう。その時、鏡で自分の口の動きを見ます。それを繰り返しているうちに、



受講生の皆さん

講師の木村先生

次第にネイティブの声に合ってきます。テキストは欲張らずに、1冊(多くても2冊)をじっくりと一定期間やってみることで。また、ご家族に自分の話す英語を聞いてもらったり、ゲーム感覚でテレビやCDなどで流れる英語を聞いて、どれだけ理解できたかを競争するのも楽しく学習できていいと思います。必ずや、お口からポロリと英語がこぼれます。

英語を話す場面があっても躊躇してしまう人がたくさんいます。そんな人にアドバイスをお願いします。

発音や文法を気にしていると前に進めません。機会があればどんどん話すようにしましょう。どの国の言葉でも訛や方言があるので、気にせずに覚えた単語やフレーズを使って話し掛けましょう。伝えようという強い気持ちをもって話す相手も違ってきます。旅行に出かけるときは、ホテルや街で1回以上は英語で話し掛けようというように目標を持つのもいいですね。恐れなくて厚かましく、自分の知っている英語を駆使して話しましょう。